

人間基礎科目群

■ 人間と倫理

政治・経済・科学から日常生活にわたるさまざまな事件、社会現象などを題材にして倫理学の基本的知識と思考方法を身に付けることを目標とする。

■ 人間の発達

知覚、言語など人間の基本的機能における発達心理学の基礎的な知識について学び、発達心理学の見地に立って思考する能力を獲得する。

■ 日本国憲法

日本国憲法の中でも、とりわけ人権の尊重と平和主義に焦点をあて、条文解釈を理解すると共に、判例を通じて要点を理解するよう講義する。

■ 地球環境問題

地球温暖化などの「地球環境問題」や、廃棄物問題などの「地域環境問題」を考え、自己の地球市民としての見識の高揚を図る。

■ 生涯学習概論

生涯学習の理論的・実践的問題についての基礎的・基本的な知識を修得することを目的とし、教育改革や発達課題などについて理解する。

■ 正しい日本語

国語の語彙、文法的特徴及び音韻など日常生活のことば・死語・新語・流行語などから正しい会話、若者らしいことば遣いを修得する。

■ 近代日本文学

小説・詩・短歌・俳句の文学ジャンルに分けて時代の文学思潮をあげ、伝統的日本人の心のあり方や精神の流れなどを学ぶ。

■ 基礎数学Ⅰ

高等学校課程の復習と大学生として必要最低限の数学の知識と応用能力の修得を目標として、方程式、三角関数などについて学ぶ。

■ 基礎数学Ⅱ

基礎数学Ⅰに引き続き、数列、ベクトルと行列について講義と演習を行い、データ分析に必要な確率論、統計論についても学ぶ。

■ 基礎物理学

物理学の全分野を網羅的に講義するのではなく、ハイテク機器など我々の身の回りの現象を例にとって、物理の基本的な概念を解説する。

■ 基礎化学

私たちの身の回りにあるものを化学物質として認識し、より深い理解ができるよう、身近な日常現象と結びつけて親しみやすく学ぶ。

■ 基礎生物学

生物の基本単位である「細胞」について触れた後、代謝・免疫や細胞分裂・遺

信などについて講義し、老化など最新の話題についても触れる。

人間生活科目群

■ 情報リテラシー I

情報の表現・処理とインターネットの仕組みや情報モラルについて学ぶとともにWord・Excelの基本的な技能を演習で身に付ける。

■ 情報リテラシー II

新しい情報技術や情報セキュリティに関する知識を基礎に、Word・Excelに加え、PowerPointによる資料作成の実践力を身に付ける。

■ 教養演習 I

建学の精神、大学生としての在り方について話し合うと共に、読解力やレポートの書き方などの演習を通して、学生に求められる基礎的知識の修得をめざす。

■ 教養演習 II

管理栄養士の在るべき姿について話し合うと共に、管理栄養士による講演、管理栄養士の職場見学を通して、管理栄養士として求められる役割を学ぶ。

■ 英語 I

読むことを基盤として、語彙、基本的な文法、構文把握を強化する。また、英語を使う喜びを体験し、さらに食物栄養に関する英語も理解できるようにする。

■ 英語 II

英語 I に引き続いて、読むことを基盤として、語彙、基本的な文法、構文把握を強化する。また、英語を使う喜びを体験し、さらに食物栄養に関する英語も理解できるようにする。

■ 体育理論

運動の生理では、運動によるからだの生理的機能の変化を把握し、生命維持のために働く仕組みを理解する。

■ 体育実技

テニスなどを通じて運動技能の向上、身体諸器官の発育・発達、健康でかつ安全に対する態度の形成など人間形成を図る。

■ キャリアガイダンス

職業観、勤労観を培い、社会人として必要な資質、能力を形成していくことができるよう、社会人基礎力やビジネスマナーを獲得する。

■ 社会との接続 I

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養（かんよう）し、職業に関する知識・技能を身に付けさせ、自己の個性を理解した上で主体的に業務を遂行できる能力・態度を育成する。

■ 社会との接続Ⅱ

学生が将来への目的意識を明確に持てるよう、職業観を涵養（かんよう）し、職業に関する知識・技能を身に付けさせ、自己の個性を理解した上で主体的に業務を遂行できる能力・態度を育成する。

■ クラブ活動の活性化

クラブ活動に積極的に取り組むことにより、協調性、社会性及び自己管理能力など安定した人間性を身に付ける。

■ 生活経済学

日常生活で目にするさまざまな価格に関する経済学的思考を養い、生活への応用可能性を探ることに重点をおく。

人間福祉科目群

■ 少子高齢化と諸問題

日本の高齢化は猛スピードで進んでおり、個人や行政など、社会の構成員全てが意識を転換して、相応しい社会・経済システムの構築を急がなければならないことを学習する。

■ 児童福祉概論

児童福祉の理念・歴史・実態そして国際的な児童福祉及び諸問題について学び、児童と家族全員の福祉を達成することを目標とする。

■ ボランティア理論

阪神大震災におけるボランティア活動を中心に代表的活動事例を提示する中で、ボランティア活動の意味を問う。

■ ボランティア活動

実際のボランティア現場からの最新の情報を収集し、より具体的な方法や現状及び、ボランティアに対する意識の啓発をめざす。

■ 社会心理学

社会心理学における基礎的な知見を紹介することにより、社会状況における人間の行動を社会心理学的に分析・理解する。

■ 臨床心理学

心理学的なアセスメントや援助を行う臨床心理学では、こころの悩みや問題を理解する方法、それらの解決方法について学ぶ。